

ACANTHUS NEWS



平成15年 2003.7

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第81号

次期学長候補者に 林 勇二郎 現学長が再選される



任期満了に伴う学長候補者選挙は、6月2日の公示を受け、7月2日、3日の2日間にわたって行われ、現職の林勇二郎学長が再選された。任期は、本年9月22日から平成20年3月31日までの4年半。これまでの学内規程では学長の任期は新任で4年、再任で2年とされ、続けて6年を超えることはできなかったが、今回の学長の任期は国立大学法人への移行を前提に定められた特例規程により、再任の場合も4年半となった。

当選後の記者会見で、林学長は、大学を取り巻く環境が厳しい中、法人化を契機として全学を挙げて改革に取り組んでいく、法人化後は学長のリーダーシップが問われ、権限の強化とともに責任が重くなる中、自身の好きな言葉「恭を以て己を持す」のとおりに謙恭に事にあたりたいと所信を述べた。



当選後の記者会見で、2期目に向けての所信を表明する林学長
=7月3日、事務局第2会議室

林学長の略歴

昭和17年1月17日生まれ、東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了（工学博士）。昭和45年に本学工学部講師に採用され、その後助教授、教授を経て平成9年4月から工学部長、平成11年9月から学長を務める。専門は熱工学。

学長候補者選挙結果

推薦委員会からの推薦を受けて、選挙管理委員会は6月20日、計10名の候補者を公示した。これに基づき、7月2日に



当選人が決定した第2回投票
=7月3日、事務局第2会議室

第1回投票が行われたが、有効投票の過半数の得票者がなかったため、上位得票者5名により翌3日に行われた第2回投票で、林学長が有効投票の過半数を獲得し、同日に開催された評議会で次期学長候補者として決定された。

開票結果 (候補者は五十音順に記載。敬称略)			
選挙資格者総数751名			
第1回投票 (7月2日) 投票率80.6%		第2回投票 (7月3日) 投票率78.8%	
投票総数	605	投票総数	592
うち有効投票数	600	うち有効投票数	585
各候補者の得票数		各候補者の得票数	
池内 了	29	尾田 十八	18
尾田 十八	35	辻 彰	180
金子 劭榮	7	中村 信一	7
鹿野 勝彦	11	林 勇二郎	340
辻 彰	133	樋渡 保秋	40
中島 史雄	5		
中村 信一	43		
林 勇二郎	274		
樋渡 保秋	49		
前田 達男	14		
無効票	1	無効票	2
白票	4	白票	5

巻頭言

時刻表と社会環境学



社会環境科学研究科長
前田達男

公共交通はダイアグラムをもとに動く。運行線図を見る機会はなかなかないが、グラフを表に落とした時刻表なら容易に入手できる。時刻表は移動のための計画を立てるために見るのが普通であるが、時刻表からは移動という側面から捉えられた人々の生活、地域社会の変化も読み取ることできる。

北鉄バスが県道金沢・井波線を走るようになったのは、1989年度の後期である。ダイヤを大学側と事業者側の協議で改めてきた90年代初期のダイヤでは2限目到着便を多くし、土曜日には12:35の便を加配していた。当時は、100分授業の4制限、土曜日は半ドン、文系専門課程の多人数講義は2限目以降に割り振られていた、と察しがつく。1限目到着便が顕著に増加するのは、1993年10月18日のダイヤ改定、すなわち教養部の後期授業開始によってである。

教養部の移転から10年、角間地区と市内・市郊外ターミナルを結ぶバスは、当初の1系統、平日の上り（大学行き）21本、下り（金沢駅行き）23本、終バス21:15から6系統、月～金の上り76本、下り80本となり、終バスも22:00となった。この本数は平和町線にははるかに及ばないが、金沢大学線を管轄する東部営業所の幹線・花里線（18系統）の本数に匹敵する。それにもかかわらず市内幹線との格差を覚えるのは、終バスの時間、運転の定時性、そして何よりも角間地区が小立野、宝町、平和町地区と異なって市内均一料金地帯外ということにある。

角間キャンパスが「山奥の大学」と評価されるか否かは、私的な車による道路の使用頻度によってではなく、公共的な交通手段によって市内各地と容易に交流することができるかどうか、簡単に言ってしまうと、「時刻表」の質によって決まる。バスの運行主体に要望することは多々あるが、大学の側でもクルマ社会を「環境」という視点から見直し、公共交通の利用をもっと奨励する交通計画を策定すべき時代に入ったのではないだろうか。

目次

次期学長候補者に林 勇二郎 現学長が再選される ……	1	教育学部附属幼稚園 第49回教育研究会開催 ……	8
時刻表と社会環境学 ……	2	海外留学フェア2003、派遣留学説明会 ……	9
医学系研究科に石川県からの「寄附講座」を開設 ……	3	語学要員養成研修が開講 ……	9
法科大学院の設置を申請 ……	3	事務職員の海外研修 ……	9
講演会「科学技術システム改革の動向」 ……	4	北陸総合通信局長表彰 ……	10
金沢大学国際交流後援会第一回総会開催 ……	4	第5回LSI IPデザイン・アワード ……	10
金沢大学国際交流後援会の会員・賛助員募集中 ……	4	文部科学省大臣感謝状伝達式・	
シンポジウム「高速ネットワーク時代の遠隔医療」 ……	5	御遺骨返還式及び合同慰霊祭挙行 ……	10
十全医学会学術集会シンポジウム ……	5	キャンパス美化 ……	10
シンポジウム「確認の工夫～あなたの確認、		発行 ……	10
どんな確認?～」 ……	5	ミニ講演「タバコと健康」 ……	11
平成15・16年度文部科学省		6月の公開講座 ……	11
「地域貢献特別支援事業費」に選定 ……	6	モウソウ竹を使った食器づくりー角間の里山自然学校ー ……	12
「百万石まつり」パレードに参加 ……	7	「角間の里山展」 ……	12
ランチョンセミナー ……	8	アカンサスの花が咲く ……	12
医学科 チュートリアル教育を開始 ……	8	編集後記 ……	12

トピックス

医学系研究科に石川県からの「寄附講座」を開設

生活習慣病の予防，早期発見，早期治療など，地域の重要な課題の解決を目指すため，医学系研究科に石川県からの寄附による講座として「生活習慣病講座（石川県）」を設置することとなり，6月12日，林学長と石川県の谷本正憲知事が講座設置の協定の調印を行った。この講座では生活習慣病に関する教育，研究，診療のほか，公開講座を県内各地で実施するなど，教育研究の成果を県民に還元する。

地方自治体から国への寄附の禁止緩和により，全国で初めて自治体からの寄附講座を設けることとなった。



調印後に懇談する

（左から）馬淵宏医学系研究科教授，中村信一副学長，林学長，谷本知事



協定書に調印後固く握手を交す林学長（左）と谷本知事（右）
＝石川県知事室

法科大学院の設置を申請

本学は6月27日，文部科学省に法科大学院「金沢大学大学院法務研究科」設置を申請した。これに先立ち6月20日，林

学長，中島史雄法学部長らが記者会見を行い，平成16年4月の開設を目指す法科大学院の概要について発表した。



記者会見を行う林学長（中央），中島法学部長（左），榎見由美子法学部教授（右）
＝6月20日，事務局第2会議室

学生定員は40名，うち他学部出身者及び社会人枠を2～3割設ける。専任教員は元検事，弁護士ら7名の実務家教員を含む19名。適切かつ迅速な紛争解決を目指し，事件を横断的に捉えることができる法律家の養成，また紛争予防のための調整能力を備えた，地域貢献をなす法律家の養成を目指す。

なお，設置の可否は11月下旬に文部科学省から通知される。

6月のニュース

講演会「科学技術システム改革の動向」



講演する今村所長
＝事務局大会議室

6月18日、科学技術政策の動向、現状及び今後の認識向上を図ることを目的に、科学技術政策研究所の今村努所長による「科学技術システム改革の動向」に関する講演会を開催した。

我が国の科学技術政策に詳しい今村所長は、国立大学法人への移行を目前にして、教育・研究環境の大きな変革の中での科学技術政策の方向性について講演し、参加した教職員約70名は真剣に聞き入っていた。

金沢大学国際交流後援会
第一回総会開催

6月5日、本学の国際交流事業を支援する目的で平成14年3月に設立された、「金沢大学国際交流後援会」の第一回総会が開催された。

総会では、平成14年度事業報告及び決算、平成15年度事業計画及び予算等について協議され、原案どおり承認可決された。

なお、総会関係情報については後援会ホームページで公開している。

(<http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/exchange/kouenkai/>)



総会に出席した会員と議事進行する佃一成後援会会長
＝事務局大会議室

金沢大学国際交流後援会の
会員・賛助員募集中

金沢大学国際交流後援会では、ただいま新規入会及び15年度分の会費・賛助費の納入をお願いしています。

14年度は会員（学外の方）275名、賛助員（本学教職員）495名、計770名のご加入をいただき、860万円余りの資金を得ることができました。この貴重な浄財は15年度事業資金として、国際学術交流や留学生交流に係る9つの事業に活用されます。年間1千万円の目標額を達成するため、皆様のより一層のご協力をお願いします。

入会のご案内（右）は、各部署
総務担当係にあります。

問い合わせ：国際交流課
(TEL:076-264-5292)



シンポジウム 「高速ネットワーク時代の遠隔医療」

総務省情報通信月間行事の一環として、6月13日シンポジウム「高速ネットワーク時代の遠隔医療ーその展望」が開催された。シンポジウムでは、医学部附属病院と北陸三県の病院を高速回線で結んだ画像診断や診療会議など、高速ネットワークを利用した遠隔医療に関する様々な取り組みや今後の展望が紹介され、ネットワーク技術が専門医師のいない地域での医療の向上に寄与することが報告された。



開会のあいさつを行う岩原正吉工学部教授
＝金沢市内のホテル



総合討論するパネリスト
＝医学部記念館

十全医学会学術集会 シンポジウム

6月14日、「独立行政法人化に向けての医育機関の戦略」をテーマに、平成15年度十全医学会学術集会シンポジウムが開催された。国立大学法人化が迫る中、金沢大学がどのような戦略でこの難局に立ち向かうべきかについて、4名のパネリストがそれぞれの立場から講演を行った。総合討論では多くの参加者が法人化という未曾有の変革に向けての疑問や不安を各パネリストにぶつけ、4時間半にわたる実りあるシンポジウムとなった。

シンポジウム 「確認の工夫～あなたの確認、どんな確認?～」

医学部附属病院は、医療事故防止に関する研修会の一環として、「確認の工夫 ～あなたの確認、どんな確認?～」をテーマに教職員360名が参加して院内シンポジウムを開催した。

シンポジウムでは、内科医師、外科医師、看護師2名、薬剤師、検査技師、放射線技師の計7名が、テーマについて発表した。



多数の教職員が参加したシンポジウム
＝6月25日、医学部臨床第一講義室

特集

平成15・16年度文部科学省 「地域貢献特別支援事業費」に選定

平成15・16年度文部科学省「地域貢献特別支援事業費」には、全国74の国立大学が申請し、大学全体としての組織的・総合的な取組み、基本コンセプト、具体性、独創性、自治体と大学の相互性・一体性などが審査され、26大学が選定されました。金沢大学は、昨年度に引き続き文部科学省から地域貢献特別支援事業費の選定大学として採択されました。

金沢大学地域貢献推進事業の基本コンセプト

地域とともに！
いしかわ・かなざわ
金沢大学 自然・文化・人づくり・にぎわい



— 大学の知的資源の活用による地域課題への貢献 —

新規事業メニュー

生涯学習	学びと情報の拠点 「金沢大学サテライト・プラザ」	学生と市民の交流 NPO・NGOリーダー人材養成研修 北陸地区大学連携駅前セミナー
	金沢大学 「角間の里山自然学校」	薬学部附属薬用植物園等の市民参加型開放事業 自然農法を含む持続的農業の実践 教育プログラムの研究・開発
医療・保健・福祉	教育と医学の連携による 子育て支援	「教育プラザ富樫」を拠点とした 教育と医学の連携による子育て支援 「子育て相談室」「思春期相談室」「指導者研修」等
	正しい医薬品の使い方 ネットワーク	医薬品適正使用情報ネットワーク（仮称）の構築
人材育成	地域の未来を拓く人づくり （初等中等教育支援）	小・中・高校教員の能力、資質向上のための技術協力、指導助言等 出前授業、オープンキャンパス、留学生派遣等
文化	いしかわの文化に学ぶ 「金沢学」の創出	「金沢学講座」を開講 手取川の自然学習とエコミュージアム構想
地域課題	学生主役の街中にぎわいづくり 「香林坊ハーバー」	サークルで培った能力を活かしたボランティア活動 「学都金沢文化祭」への参加
	市民と連携したITによる 豊かなまちづくりプラン	市民参加型地域計画支援システムの構築支援 「金沢まちづくり市民研究機構」と連携
	大学と地域とのかけ橋 「地域貢献コーディネーター」	「いしかわシティーカレッジ」への支援 「いしかわ国際協力研究機構」との連携 タウンミーティング、新たな地域貢献事業企画等

〈お問い合わせ先〉 金沢大学地域貢献推進室

TEL : 076-264-5289 chiiki@ad.kanazawa-u.ac.jp

FAX : 076-234-4052 http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad_chiiki/index.htm

「百万石まつり」パレードに参加



人気を博したJMCの妙技

石川門下をキリコかついて練り歩く留学生

6月14日、「第52回金沢百万石まつり」の「パフォーマンスパレード」に教職員、学生約140名が参加し、沿道を埋めた市民と観光客に「地域と世界に開かれた金沢大学」をアピールした。

5回目の出場となった今年は、初参加の「ジャグリングアンドマジックサークル（JMC）」を先頭に、躍動感あふれるチアリーダー部、留学生と教職員が担ぐ能登伝統のキリコ3基が続き、「加賀は天下の書府、知の集積 金沢大学」、「高度先進医療を支える金大病院」、「学びの舞台 金沢大学」などののぼり旗で金沢大学をアピールした。



香林坊で演技のチアリーダー部



パレードに参加した教職員・学生

6月のニュース

ランチョンセミナー

大学教育開発・支援センターは、6月10日から、昼休み時間を利用してミニ講座「ランチョンセミナー」を開催している。このセミナーは学生の学習の動機付けを明確にし、学習・研究に必要な知識を得るために役立つテーマを提供するもので、昼食をとりながらの受講が認められている。6月には計10回のセミナーが行われ、学習上のアドバイス、よりよい学生生活を送るための知恵、専門的テーマについての入門的な話などが行われた。前期には合計21回のセミナーが予定され、後期も引き続き行われる。



セミナー「らくらく中国語」を受講する学生と講演者ら
=6月25日、総合教育棟A1講義室



学生の討論を中心に進められる授業
=6月3日、医学科第一実習室

医学科 チュートリアル教育を開始

医学部医学科では、この6月から学部における医学・歯学教育の改善策として「チュートリアル教育」を実施している。チュートリアル教育は、近年の医学・歯学領域の進展による情報量の爆発的な増加と教育内容の著しい変貌に対応するため、これまでの「知識伝授型」の教育に偏らず、少人数討論による「Problem-based learning (PBL)」を行うもので、学生の討論を誘導し、自学自習方法をアドバイスする。

受講している学生からは、積極的に意見を出せる、自学する習慣がついたなどの声が寄せられている。

教育学部附属幼稚園 第49回教育研究会開催

6月4日、附属幼稚園において「友だちとかかわり合いながら創る生活プラン」を研究テーマに、幼児教育研究会が開催された。210名を上回る県内外の幼児教育関係者が出席し、保育公開、年齢別分科会、研究報告及び大妻女子大学の柴崎正行教授による講演などが行われ、幼児が自分なりの力を発揮し自分づくりをするプロセスなど保育のさまざまな場における事例を検証した。



3歳児保育公開
=附属幼稚園保育室



協定校のブースで質問する日本人学生とそれに答える交換留学生
=6月17日、大学会館大集会室



留学について説明を聞く参加者
=7月1日、総合教育棟A3講義室

海外留学フェア2003, 派遣留学説明会

海外に留学する学生を増やそうと、6月17日、18日の2日間にわたり「海外留学フェア」が、6月25日、26日、7月1日、3日の4日間にわたり「派遣留学説明会」が開催された。

留学フェアでは海外協定校のうち17校の紹介ブース、留学生とのチャットコーナーなどが設置され、昨年を上回る240名の来場者で賑わった。

また、派遣留学説明会には4日間で延べ101名の学生が参加し、参加者から留学に関する熱心な質問が行なわれた。

語学要員養成研修が開講

6月16日、平成15年度語学要員養成研修の開講式が行われた。

このコースは3コース（英語上級、英語中級、中国語）に分かれ、計8名の受講者は平成15年12月までに行なわれる研修に励むこととなった。

なお、語学要員養成研修には、平成9年度から実施しており、延べ117名の教育研究支援職員が受講している。



開講式に臨む受講者
=事務局第1会議室

事務職員の海外研修

語学能力と国際的視野を持った職員を育てようと、事務職員の海外研修が行われている。研修者は語学研修と海外の大学における実務研修に励んでおり、帰国後の活躍が期待される。

- 金沢大学教育研究支援職員海外派遣研修
学生部留学生課 敷中待子事務官
平成15年5月29日～8月31日（3ヶ月）
オーストラリア国立大学（オーストラリア）



晩秋のオーストラリア国立大学構内に立つ敷中事務官

- 文部科学省国際教育交流担当職員長期研修
総務部国際交流課 出口智子事務官
平成15年6月14日～16年6月1日（1年）
モンタナ州立大学、ワシントンDCほか（アメリカ合衆国）

なお、出口事務官の研修の様子は「出口事務官のモンタナ日記」として国際交流課ホームページに掲載中。



語学研修のクラスにて（右端：出口事務官）
=モンタナ州立大学

6月のニュース

北陸総合通信局長表彰

6月2日、工学部高山純一教授は、総務省北陸総合通信局長から表彰された。新列車運行管理システム等の提言の取りまとめに尽力したことが評価されたもの。



高山教授

第5回LSI IPデザイン・アワード



後列左から、今村幸祐助手、吉本雅彦教授、橋本秀雄教授、前列左から、黒田雄樹 (M1)、宮越純一 (M2)、深山正幸助手

6月10日、工学部の研究グループは、LSI IPアワード運営委員会から第5回LSI IPデザイン・アワード開発助成部門開発奨励賞を受賞した。論文「携带动画像端末応用サブmW・MPEG4 動き検出プロセッサコアIP」が評価されたもの。

文部科学省大臣感謝状伝達式・御遺骨返還式及び合同慰霊祭挙行



追悼の言葉を述べる福田研究科長
=医学部十全講堂

6月21日、医学部十全講堂で献体者に対する文部科学大臣感謝状伝達式及び御遺骨返還式がしめやかに挙行され、御遺族、医学部関係者約500名が出席した。

式では、医学教育のために献体された方々に対し、全員による黙祷と献花が捧げられ、故人33名の冥福を祈った。続いて福田龍二大学院医学系研究科長・医学部長が追悼の言葉を述べた。

午後からは、第101回合同慰霊祭が行われ、献体者並びに病理解剖者を含めた198名の方々の霊を偲んだ。

キャンパス美化

例年行われているキャンパス美化作業が、5月から7月上旬にかけて全学で実施され、多数の教職員・学生（理学部及び工学部）が除草・清掃などに汗を流した。



刈り取った雑草を集める職員
=6月10日、角間キャンパス



多数の学生が参加して
=5月21日、工学部

事務局			
総務部	経理部	学生部	施設部
6月9日	6月10日	6月11日	6月12日

発行

○「金沢大学大学案内」

入学を希望する学生への学部等紹介冊子



文学部 法学部 経済学部	教育学部	理学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	がん研究所	附属病院	薬学部	工学部	附属図書館	附属学校
6月6日	6月6日	6月9日～ 6月13日	6月10日	6月18日	6月1日	6月16日	7月4, 5日	5月19日～ 5月30日	6月6日	6月12日

大学開放

ミニ講演「タバコと健康」

- 月 日：6月21日
- 講 師：染井正徳薬学部教授
- 場 所：金沢大学サテライト・プラザ
- テレビ会議システムによる「金沢大学遠隔講座」受信会場：
小松市芦城センター
- 来場者：40名



6月の公開講座



塑像による頭像の制作
=6月29日，教育学部芸術棟第2彫刻教室



剣道 - 剣道指導の科学的基礎 -
=6月14日，角間第2体育館



リカレント教育講座 参加型計画の理論と技法
=6月7日，工学部秀峯会館



法学公開講座「バリアフリーからユニバーサルデザインへ」
=6月21日，大学教育開放センター講義室



木口木版による版画制作
=6月11日，サテライト・プラザ講義室

モウソウ竹を使った食器づくり —角間の里山自然学校—

6月9日、アカンサスインターフェイス事務局側竹林で、総合科目「里山」の授業が行われた。授業では、受講生自らモウソウ竹を伐り出し、ノコやナタ、切り出しナイフを使って、竹のコップや皿、箸を作った。最初はノコやナイフの使い方に戸惑う場面も見られたが、多くの学生は時間を忘れ、夢中で竹を削った。持ち帰ってコップや箸を使った感想は、「自然の味がして気に入った。」など竹の良さを見直すものが多かった。



自作の食器を披露する学生

「角間の里山展」



展示の標本に見入る見学者

期間中、「角間の昆虫」と「旧金沢城内の昆虫」の標本の展示や、パネルによる「角間の里山自然学校」「里山メイト」の活動などの紹介を行った。

6月12日から18日まで、金沢市西町教育研修館1階の交流サロンで、金沢大学サテライト・プラザ特別企画「角間の里山展」を開催した。

期間中、「角間の

アカンサスの花が咲く

薬学部附属薬用植物園で、本校校章のデザインに取り入れられているアカンサス（和名「ハアザミ」）の花が咲いた。アカンサスは、キツネノマゴ科の大形多年草で南欧原産。夏に白色、淡紫色の唇形花を穂状につける。



6月20日、梅雨の晴間にひっそり咲いたアカンサス

記事訂正 平成15年2003.6月刊アカンサスニュース第80号巻頭言の理学部長の氏名を「大村昭雄」と掲載しましたが、「大村明雄」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編 集 後 記

7月になりました。蒸し暑い梅雨模様の毎日ですが、1日に「氷室万頭」を頂いて初めて夏を実感しました。「氷室」を想像するからか、薄い青や赤が目にも涼やかで、抑えた甘さが気持ちまでしゃんとさせるような気がしたから不思議です。

この麦万頭、雪に耐えて成長する麦の強い生命力にあやかり、「万の頭となるように」との願いを込めてこの日に食べるようになったとか。由来を聞くと、今度は、夏を乗り越える元気まで出てくる、と言ったら言いすぎでしょうか。金沢は文化の街といわれますが、文化とは、こんなふう意外と力を持っているものなのかもしれません。

氷室万頭を召し上がった方も、そうでない方も、どうぞよい夏をお過ごし下さい。

(総務部企画広報室企画係 中嶋 敦子)

平成15年7月18日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jpでも受け付けています。